

地域おこし協力隊のふくしま散歩!



地域おこし協力隊
猪熊 矩嗣

福島町では落葉樹が枯れ落ち、いよいよこれから本格的な冬の到来となりますが、町民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。
私は、紅葉がまだ残る頃の10月29日に開催されました「第25回 殿様街道 探訪ウォーク in 秋」に今春に続き2回目の参加をさせていただきました。このイベントは、福島町千軒地域活性化実行委員会が主催しており、今回は参加者42名中37名が町外の方という、福島町民より町外からの認知度が高く参加人数も多いという年間を通した町内イベントの中でも、とても希有なイベントのような気がいたします。

特に今回は、遠くは兵庫県から夫婦で参加された方もおり、受付を担当した私も大変驚き、同イベントのこれからの可能性も直に感じる事が出来ました。

また、毎回飽きないようにテーマが変わる工夫があり、リピーターが多いのも特徴です。今回は、来年度後200年を迎える伊能忠敬をテーマの主軸として、ガイド提供が行われておりました。

伊能忠敬といえば、この福島町が蝦夷地測量のスタート地点。我が町も来年、吉岡に銅像と記念公園の設置が決まっており、平成30年4月には除幕式を行う予定です。

本イベントは、登山の経験がない方でもスニーカーや長靴などで気軽に参加することができます。道中は秋の紅葉に心を和ませ、途中に大千軒岳を望みながら「栗林」「砲台跡」「御用林境界標」「国鉄松前線跡」「ブナの巨木」「茶屋跡」と要所で歴史の解説を挟みながら、全長約7キロの通称「殿様街道」を歩きます。午後からは千軒地区「あづまぐる」に会場を移し、昼食で千軒そばや芋団子汁を堪能して頂き、最後に松前神楽を鑑賞しイベントは終了。

正直なところ、福島町に帰郷する以前千軒地区といえは、大千軒岳のイメージしかありませんでしたが、参加者にお話を伺うと、福島町に住んでいると当たり前前の風景などが町外の方には魅力的なものに映るのだと改めて気が付き、今回のイベントを通じ、発想の転換や灯台下暗しのアイディアを形にすれば町外に福島町をアピールできる方法がまだまだあると感じました。

これからの時期、玄関先にカラフルな雪掻きの道具が並び始める風景も、見慣れていない人からするととても特異な風景に映るようです。『当たり前前の常識が、外から見ると非常識』という事が、何か大きなアイディアに繋がるかもしれません。



▲大勢の方が参加しました



▲紅葉を楽しみながら歩きました



▲歴史について説明する、福島町町史研究会の中塚徹朗会長



▲探訪ウォーク終了後は、松前神楽を鑑賞



特定建設業 豊かな技術と確かな信頼工事

株式会社 松山電気工業

本社住所：檜山郡厚沢部町字富栄611-4
電話：0139-64-3331

URL：http://www.hiyama-denki.co.jp

営業所住所：松前郡福島町字福島524

電話：0139-47-3622

E-mail：hiyama02@beach.ocn.ne.jp

北海道グリーン・ビズ認定、北海道と家庭教育サポート企業協定締結

松山電気はこんな会社

みんなまってるよ～

電気工事組合
レクリエーション

社内旅行



営業所の社員です
社員募集中



綱引き優勝



旭山動物園・ルスツ
行ってきたよ